

会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度第1回所沢市産業振興ビジョン推進会議
開 催 日 時	令和6年8月21日(水) 10:00~12:00
開 催 場 所	所沢商工会議所 会議室
出 席 者 の 氏 名	(会議に参加した委員) 河藤 佳彦、三上 誠、中野 陽子、小林 つぐみ、大木 敬治、 見澤 英一、堺 奈都、朝倉 はるみ、観山 恵理子、幸物 正晃
欠 席 者 の 氏 名	黛 晴美
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	なし
議 題	(1) 所沢市産業振興ビジョンにおける令和5年度実績について (2) 各重点推進事業における今年度の取組内容について (3) 令和5年度所沢市地域経済動向調査の概要について (4) 今後の会議の進め方について (5) その他
会 議 資 料	・ 資料1-1: 所沢市産業振興ビジョン推進状況確認シート (令和6年3月末) ・ 資料1-2: 各重点推進事業における今年度の取組内容 ・ 資料1-3: 令和5年度 所沢市地域経済動向調査 結果概要 参考資料 ・ 委員名簿 ・ 所沢市地域経済動向調査 ~令和5年度調査~ 報告書 ・ 資料1-1 別紙: 所沢市産業振興ビジョン推進状況確認シート (その他事業)
担 当 部 課 名	産業経済部 部長 林 誠 産業経済部 次長 吉川 泰央 産業経済部 産業振興課 課長 奈良 和子 主査 安齊 克徳 主査 前川 浩二 主任 佐久間 香穂 主事 利根川 尊哉 産業経済部 商業観光課 課長 古田 晃一 副主幹 藤井 徹 副主幹 村田 貴紀 産業経済部 農業振興課 課長 前田 亘一 事務局 産業経済部 産業振興課 電話 04-2998-9157

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
産業振興課長	開会
産業経済部長	あいさつ
産業振興課長	委員の任期について説明
各委員	自己紹介
事務局	自己紹介
事務局	所沢市産業振興ビジョン推進会議の設置目的及び役割について説明。
産業経済部長	会長・副会長選出（産業経済部長が仮議長となる） 自薦他薦等あればお願いしたい。
産業経済部長	事務局案があればお願いしたい。
事務局	事務局としては、前期に引き続きまして、会長には知識経験を有する者から河藤委員を、副会長には産業関係団体の代表者として三上委員が適任であると考えている。
産業経済部長	事務局から、会長に河藤委員、副会長に三上委員との提案があったがいかがか。
委員	了承
会長	あいさつ
副会長	あいさつ
産業振興課長	会議の公開・非公開の取扱い これからの進行については、本推進会議条例第5条の規定により、会長に議長をお願いする。
会長	議事に入る前に、本推進会議における会議の公開及び議事録の作成の取扱いに関して、確認をお願いしたい。
事務局	事務局より本推進会議における会議の公開及び議事録の作成の取扱いについて事務局案の説明をお願いしたい。
事務局	事務局案としては、会議録の記載は要約方式、発言者は単に「委員」として個人名を表記しない方法にしたいと考えている。
事務局	議事録については、今後、会議資料となるとともに、公文書公開の対象文書となる。
事務局	議事録は、各委員に確認の上、会長の承認をもって確定としたいと考え

	<p>ている。</p> <p>会議の公開・非公開について、会議の原則公開に従い、本推進会議は「公開」とし、審議の過程で、公開することにより、著しい支障が生じることが想定される場合には、改めて皆様にお諮りする。</p> <p>議事録の作成について、会議録の記載は「要約方式」、発言者は「委員」とし、議事録の確定は各委員に確認の上、会長の承認をもって確定とすることでよいか。</p>
会長	
委員	了承
会長	議事を進める。本日、傍聴希望者はいるか。
事務局	傍聴者1名です。
会長	傍聴の皆様をお願いします。傍聴席では静粛に、会場の秩序を乱すなど、会議の妨害とならないようご協力をください。また、写真撮影、録画、録音等をご遠慮ください。
会長	<p>議事（１）所沢市産業振興ビジョンにおける令和５年度実績について</p> <p>議事（２）各重点推進事業における今年度の取組内容について</p> <p>議事（１）及び議事（２）については、連続して事務局より説明を求めるとし、質疑は説明の後合わせて行うことでよいか。</p>
委員	了承
事務局	資料1-1及び資料1-1別紙並びに資料1-2に基づき説明
会長	今期初めて委員を務める方もいることから、感想や具体的な意見など全ての委員からの発言を求める。
委員	<p>事業の結果の説明は必要だが、今後知りたいことは、どのような立場の方が、どのような目的で参加し、そこでどのようなものが得られたかがわかるようにしてもらいたい。</p> <p>情報については、バックグラウンドがそれぞれ異なる人から聞いた場合には、出てくる情報にも違いが出る。その辺りの細かい情報があると推進委員として協力できることが見えてくる。</p>
委員	<p>重点推進事業８の「まち」×「みどり」のおさんぽコース道標等整備事業は、他の観光地で看板や案内板が読めないものを目にするので、少しずつだがハード面の整備は進めて欲しい。</p> <p>ただし、まずは市民に利用してもらい、観光客を誘致し、良い印象を持ってもらうことで、お金を落としてもらうことに繋がる。</p> <p>周知していくことが大切でハードの整備と合わせて、市民向けにPRやイベントを企画すると良い。市民も無料のイベントであれば、近隣の方は興味を持つと考えられる。</p> <p>学校行事に組み入れるのは難しいかもしれないが、郷土愛の醸成には子供の頃から刷り込んでいくことが大切であり、学校行事でおさんぽコース</p>

委員

を歩いてもらうような働きかけもしてもらいたい。

重点推進事業の9の報告について、ダイア圏域をPRすると記載があるが、ダイア圏域という名称は聞いたことがなく、その地域の特徴を表す言葉でないと、観光客はイメージができない。

特に広域でPRする場合は、共通のイメージを作るのは難しいと思うので良いネーミングが必要である。

重点推進事業12のインバウンド戦略推進事業について、コロナも収まり、インバウンドはすごい勢いで回復している。

ガイドの養成については、養成したガイドが、どこでどのように活躍してもらうかが見えてこない。市がどのようにガイドに仕事のチャンスを与えるかを考えないと、研修を受けてガイドになっても活躍する場所がないと、ガイドになろうという人が出てこないのではないか。

また、ガイドに収入を得られることができるのか否かが大切で、市が育成するガイドだと、ボランティアガイドと違って観光客から対価を取らないシステムが多く、無報酬だとモチベーションの持続が難しいので、観光客がガイドに対価を支払い、収入を得られるシステムを構築してガイドに有償で働いてもらうシステムに育て上げてもらいたい。

次に、資料1-2、今年度の取り組み内容の事業番号14の新規就農総合支援事業だが、後継者のいない農家の方と新規就農者のマッチングをして、現在の就農者から学んだ上で、後継者として農地や農業を繋いでいけるような事業であってもらいたい。

資料1-1の重点推進事業11、地産地消推進事業について、取り組み状況を見ると、現状ではスナップショット的な取り組みを複数されている印象で、今後、規模を拡大して継続させていくためには、もう少し工夫が必要である。

学校給食への所沢農産物の導入について、どこの自治体でも地産地消を推進したいが給食の原料は規格も厳しく、継続的に確実に量を確保するのが難しいが、長野県駒ヶ根市では、給食の地産地消のモデル事業に採択された事業があり、市が給食センターに地産地消コーディネーターを配置して、生産者と連絡をとり地元農産物を給食に提供している。

需給調整など生産者とのやりとりには、コストがかかることから民間の力だけでは難しいので、市のサポートがあると今後も有機農産物だけではなく観光にも触れていけるのではと考える。

次に、所沢市のシルバー人材センターの農業担当の方から聞いた話だが、直売に関連して、所沢市でも中心部から離れたところでは、車を運転して買い物に行くことができない高齢者から地元農産物を購入したいという需要があり、収穫した農産物をトラックに載せて販売する、振り売りという活動をシルバー人材センターで行っているようで、需要はあるが民間でやると採算が合わないので、直売のイベントなどを検討しても良いと考える。

もう一つ、遊休農地とシルバー人材センターの活用として、農地があっても所有者の方が手放せない状況や活用が難しい農地がある一方で、退職後に農業をやりたい未経験の高齢者が増えてきている。このような未経験の方がいきなりその農業をやるのは難しいが、土地を管理して欲しいという需要もあるので、遊休農地でシルバー人材センターの方が、研修のような形で簡単な家庭菜園レベルからやり方を学んでいけるような体験農園を増やすと良いのではないか。

委員	<p>遊休農地の所有者は、相続や売却を検討したり、専業農家のように継続的にやることに抵抗がある方も多し。現在シルバー人材センターに遊休農地の草刈りの依頼がすごく増えており、草を刈って放置しているという土地が増えているとのことなので、シルバー人材センターと遊休農地の活用のマッチングや体験農園のような形でいつでも返せる形で市がマッチングをすると良い。</p> <p>全体を見てバランスの取れた総合的な計画になっていると思いつながら、逆にこんなに沢山色々なことをしないといけない。これでは手が回らないのではないか。もっと外部のリソースを上手く使い、既存の活動の延長の中でコストが掛からずに、より高い効果も目指せるようになるのではないか。</p> <p>例えば、農商工連携について、情報連携したいというのは、目的ではなくて方法論である。新しいビジネスを生み出したい、あるいは自分の持っている課題を解決したいといった動機を持っている中で参加しているとすれば、農業者と商工業者がピンポイントでニーズとニーズがマッチングするのは、すごく奇跡的な確率になってくる可能性が高い。</p> <p>経済産業省の外郭団体に中小企業基盤整備機構があり、ジェグテック（J-GoodTech）というオンライン上のシステムを使って、上場企業などの大きな会社がニーズをオンライン上に出しているの、コーディネーターを間に入れて毎日ウォッチしてもらい、市内の中小企業や商工業者から提案をもらうようにして、市内事業者と連携しながらビジネスチャンス一つ一つをものにしていく取り組みができれば良いのではないかと。</p> <p>都内の宿泊施設まで作成した観光用のパンフレットを届けたと報告があったが、宿泊施設のコンシェルジュも宿泊客から問われた際に、自分が行ったことないところは、紹介しにくいと聞いたので、彼らの研修会や勉強会みたいなものを所沢市に誘致してみたいか。例えば、グランドハイアット東京のコンシェルジュが、内閣府地方創生推進事務局の地域活性化伝道師などに登録されているので、来てくれたりするのではと思う。「都内観光のリソースに少し時間あるのだけど何かないか」といった相談の際に、有力候補に挙がってくることができるのが所沢だと思ふ。費用を掛けずに上手く外部の力を使うと、より効果が出るのではないかと。</p>
委員	<p>この会議に出席するにあたり、市役所の駐車場が混んでいて、この会議の時間に遅れるのではないかなどを考えると憂鬱で、それで駐車場には沢山警備員を配置して税金の無駄遣いをしてる。所沢警察署の方から回して西側の2階の駐車場も上手く活用し、所沢郵便局との間の道も、駐車場にしたりすれば駐車場の台数が増え駐車場待ちの時間を短縮できる。市は産業振興ビジョンというよりも所沢市役所のことを考えた方が良い。</p> <p>観光情報・物産館よつこについてだが、サクラタウンに隣接していい位置にあるが、何をコンセプトにやってるのか、何を伝えたいのか、いまいち見えてこない。例えば、国道463号にも案内看板もないし施設の入口にもわかりやすい案内看板がない。何か自己満足で作ったように感じる。</p> <p>その他に、私はところざわ醤油焼きそばにも関わっているが、前期の産業振興ビジョンにも所沢の新名物ということで取り上げてもらったが、現状では学校給食でも使っていないし、地域で活用されてないのが非常に残念である。</p>

委員	<p>所沢はこれからの町であり本当に住みたい町だと思っているので、今後も益々良い町にしていきたい。</p> <p>全国的に新聞などで報じられているが、大型のショッピングセンターやショッピングモールの売り場面積がものすごく増えている状況やeコマースが非常に売り上げの大きい部分を占めてるということで、商店街事業者としては良い状況ではないが、所沢の場合はまだ東京圏に位置しているので恵まれてる。</p> <p>一時、宿泊業や旅行業が非常に苦境に陥ってる時に、マイクロツーリズムという言い方で、近いところにたくさんの需要を掘り起こそうという動きの中で、市内の商店街は構成員3名から5名の小さい商店街から、構成員が100数十名の大きな商店街もあるので、全てが同じようなことをできるわけではないが、それぞれの立場でマイクロ商圈を作っていこうとなり、国や行政を当てにするのではなく、自分達で考えていくことを最近2年間ぐらいはしている。所沢商店街連合会は31商店街が加盟しているが、この数年間は全く会員数も減っていないので、今後も何とか生き残ってもらいたい。</p> <p>また、インバウンドについて、いわゆる観光地にお財布を膨らませて歩いてくれるお客さんという感覚を持っていない、外国人という点では、パート従業員などとして労働力不足を補ってくれる方という見方をしている。</p> <p>所沢市は隣が東京都なので最低賃金の問題も含めて、東京都との競合もあり、かなりの賃金を支払わないと簡単に労働力が都内に流れてしまう状況である。そんな中でも都内から所沢のこのお店で働きたいという外国人もいて、働いている店舗のムードなどが、長く働いても良いということに繋がってるものだと思っている。具体的な方法や因果関係はわからないが、そのような事例も少なからずある。</p> <p>それからコロナの後の売り上げの状況だが、雑駁な言い方になるが、1つの商店街で3分の1ぐらいが全然駄目だということもあれば、3分の1は、ようやくコロナ前に位に戻ったというところ、それから逆に非常に良い状況ですということもある。30年ぐらい前に1番良い売り上げたが、それを今年になって上回る業績だという店舗もあり、商店街の発展や継続は、コロナ前にやっていたことを改めてしっかり見直していくことなどを我々の問題としている。</p> <p>色々なことを考えるが、アイデアというのはゼロから出てくるものではないので、産業振興ビジョンの中で色々な取り上げ方をしてもらっているので、一つでも二つでも上手く自分たちに取り入れられれば良いと思っている。</p>
委員	<p>農地の関係となるが、活用方法などの相談や担い手の方がいないということもある。また、地産地消の関係で、直売所に出しても売れ残ってしまうことをどのように解消していくか。活用方法などについて農協からも案を出したりはしているが、なかなか会社や職場でも意見が通らないとか、そのあたりも市と連携して協力できるところは協力しながら農業を盛り上げる形で一緒にやっていければ良いと思っている。</p>
委員	<p>桜の時期に東川さくらおさんぽコースを歩いたが、かき氷屋があったり、近隣の方が庭を開放していて、そこで座れるようになっていたりし</p>

委員	<p>て、とても良かった。可能であれば座って休める場所やお茶を飲めるところがあると良い。</p> <p>所沢ブランド特産品について、何を買うのが1番良いのかと考えてしまう。例えば、飯能だったら四里餅、秩父だったらちぢ餅のような、ちょっと甘くて個包装になっていて、買ってすぐ食べられるような、何かわかりやすい所沢といえばこれみたいなのが欲しい。</p> <p>若者のための所沢ものづくり企業ジョブガイドについて、これはとても良い。私には息子が2人おり、1人は就職活動中でもう1人は転職を考えているので参考になった。会社のページにそれぞれQRコードが掲載されている点が若者向けで良い。</p> <p>重点推進事業4の地域資源活用・ものづくり総合支援補助事業が増額し今年度は9件の申請があり6件交付で3件は交付されなかったが、この事業は事業者にとり、とても魅力的な事業なので、是非とも予算額を1,000万円ぐらいに増額して欲しい。</p> <p>他の委員からも発言があったが、本当にやるが多すぎる。私はこのことをずっと言っているが、重点政策といているのだから各部署どうやっても3つが限界だと考える。</p> <p>それをまとめて重点施策としてやって、事業継続力強化支援事業の予算ゼロっていうのはありえない。ただ、所沢って災害に強いから、皆さん他の地域の方より危機感がない。企業がBCPをしっかりとやらないと民間企業としてやっていけないので、事業継続力強化支援事業について予算がゼロっていうのはいかがなものかと思う。</p> <p>私は商工会議所で小規模の融資の審査委員長もやっているが、業績の良い会社と、今手助けしているが明日にでも潰れてしまいそうなところの、その差は何にかというと、やはり危機管理の意識が違う。代表者や会計士を呼んでここまでに至るまでに、あなたは気づかなかったのかという話をしている。本来であれば商工会議所の会頭の仕事ではなくて、コーディネーターの方がいてくれると非常にありがたいと考えている。</p>
会長	<p>今回、複数の委員から話があったが、いわゆる選択と集中という議論が一つある。もう一つは色々な事業を実施するというのであれば、やはり外部の政策手段を有効活用するということになるかと思う。</p> <p>産学官連携の中では、例えばコーディネーターという役割の人もいらっしゃる。それらの人材を有効活用すれば、BCPの計画を作るときなどにも、専門的なアドバイスができるコーディネーター、あるいは紹介できる方、一般的にいうと中小企業サポートセンターがコーディネーターを揃えてワンストップ窓口で対応しており、そういうコーディネート機能、あるいは大学などを有効活用していく視点も、これから必要ではないかということ、複数の委員が意識されているということも私も感じた。</p> <p>様々な貴重な意見をいただいたので、事務局で少し整理をしていただいて、今後、報告書を取りまとめる間に議論を深めたい。</p>
会長	<p>議事（3）令和5年度所沢市地域経済動向調査の概要について</p> <p>議事（3）については、本日は時間が無いことから次回に先送りすることとして良いか。</p>
委員	<p>了承</p>

会長	<p>議事（４）今後の会議の進め方について 事務局より説明を求める。</p> <p>大きな流れとして、令和６年度・７年度の２年間の会議を通じて、所沢市の産業施策における政策立案に対して、推進会議からの意見を取りまとめ、意見書を作成することを予定している。この意見書は、所沢市が各委員からの意見を、地域産業の活性化に係る事業の推進に活用すること目的に作成するものである。</p> <p>今年度につきましては、産業振興ビジョンの進捗確認に関する議題のほか、所沢市の産業施策における、現在及び今後の課題などについて、ご意見をいただきたいと考えている。</p>
事務局	
会長	事務局からの説明のとおりで良いか。
委員	了承
会長	<p>議事（５）「その他」 議事（５）「その他」として事務局より連絡事項はあるか。</p>
事務局	<p>次回の会議については、令和６年１１月２２日、金曜日、午前１０時から市役所６０４会議室で開催する。</p>
会長	議事は以上となる。進行を事務局に返す。
事務局	閉会
	以上